

教育委員会 学校教育課

1 学校教育関係

(1) 学校別就学児童生徒数

ア 小学校

平成24年5月25日現在

学校名	前年度		本年度		増 減		校長名
	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	
明道小学校	15	286	15	298	0	12	石脇 昭弘
義方小学校	19	532	22	548	3	16	松本 靖史
啓成小学校	15	286	15	279	0	△7	景山 信子
就将小学校	17	358	17	339	0	△19	大谷 健二
車尾小学校	23	585	24	590	1	5	達磨 晋
福生東小学校	18	438	19	429	1	△9	下島 久幸
福生西小学校	13	243	13	247	0	4	佐伯 啓子
福米東小学校	21	558	22	576	1	18	森田 栄
福米西小学校	22	560	22	563	0	3	西村 秋仁
加茂小学校	22	633	23	624	1	△9	宮邊 和子
河崎小学校	14	265	14	249	0	△16	岸 利也
住吉小学校	26	760	29	745	3	△15	西垣 滋
尚徳小学校	15	307	15	299	0	△8	倉光 信一郎
五千石小学校	8	155	8	155	0	0	森尾 洋子
彦名小学校	11	222	13	240	2	18	辻田 賢次
崎津小学校	15	249	13	218	△2	△31	権代 雅志
大篠津小学校	7	104	7	91	0	△13	内田 正志
和田小学校	8	122	8	120	0	△2	藤原 厚子
弓ヶ浜小学校	21	554	20	533	△1	△21	岸信 秀一
成実小学校	7	185	9	192	2	7	植田 潔
箕蚊屋小学校	15	367	16	370	1	3	竹崎 正寛
伯仙小学校	16	402	16	387	0	△15	川上 伸也
淀江小学校	17	457	19	467	2	10	安達 義昭
米子養護(小学部)	2	2	1	1	△1	△1	秋田 治
合 計	367	8630	380	8560	13	△70	

イ 中学校

平成24年5月25日現在

学校名	前年度		本年度		増 減		校長名
	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	
東山中学校	12	336	14	359	△2	23	本池 弘昭
福生中学校	12	293	12	294	0	1	井上 昭
福生中学校いづみ分校	2	8	1	5	△1	△3	井上 昭
福米中学校	17	486	19	514	2	28	長谷川昌邦
湊山中学校	13	372	14	353	1	△19	河本 隆弘
後藤ヶ丘中学校	21	660	22	641	1	△19	栢木 隆志
美保中学校	8	250	11	260	3	10	小坂 靖夫
弓ヶ浜中学校	15	398	16	415	1	17	岡崎 茂
尚徳中学校	14	394	14	358	0	△36	勝部 慎哉
加茂中学校	15	417	15	407	0	△10	大東 治巧
淀江中学校	10	240	7	220	△3	△20	松本 範史
米子養護(中学部)	3	10	5	19	2	9	秋田 治
合 計	142	3864	150	3845	8	△19	

ウ 組合立中学校

平成24年5月25日現在

学校名	前年度		本年度		増 減		校長名
	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	
箕蚊屋中学校	19	528	19	508	0	△20	松本 修一

(2) 指導関係

ア 学校計画訪問

学校の管理・運営の実態及び教育実践の状態を把握するとともに、当面する問題点や現場の意見を聴取した。

訪問校 18校

臨時訪問校 35校

イ 教育研究への助成

(ア) 初等教育研究発表会

(イ) 全国学校図書館研究大会米子大会

ウ 知能検査、心理検査の実施

(ア) 小学校2年・4年、中学校1年に知能検査実施

(イ) 中学校1年に心理検査実施（希望校）

エ 各種体育大会への助成

(ア) 小体連主催の合同体育大会を開催（6月）

全市5・6年生参加（どらどらパーク米子陸上競技場）

(イ) 小体連主催の水泳大会（米子市）に選手派遣

(ウ) 小体連主催の陸上大会（鳥取市）に選手派遣

(エ) 中学校対外競技、並びに文化活動における全国・中国大会出場に対する助成

(3) 研修関係

ア 教員の派遣研修

(ア) 小・中・特別支援学校管理職研修会（8月）

(イ) 小・中・特別支援学校教頭研修（7, 11, 12月）

(ウ) 小・中・特別支援学校教務主任研修会（7, 12月）

(エ) 中堅教員研修（8月）

(イ) 柔道初心者指導ガイドブック講習会（9月）

(ウ) 放射線教育研修会（12月）

(4) 障がい児の就学指導

ア 障がい児の就学指導

米子市就学指導委員会を8月、11月、12月に開催し、個々の障がいに応じた適正な判定と就学指導について審議した。

イ 校外職業指導

中学校特別支援学級第3学年を対象に、職業実習協力事業所で2週間にわたり職業実習を実施した。

ウ 小学校特別支援学級体育大会（小学校5月）

エ 特別支援学級合同宿泊訓練（小学校10月）

(5) 不登校児童生徒対策事業

不登校児童生徒の自立支援教室において、市内小・中学校の不登校および不登校傾向児童生徒を対象に学習

支援、自立支援を実施した。

(6) 学校評議員制設置事業

地域住民の信頼に応え、より一層地域に開かれた学校づくりを推進していくため、保護者や地域住民等から学校評議員を委嘱し、意見を聴き学校運営に反映した。

(7) にこにこサポート支援事業

小・中・特別支援学校 11 校に学校支援員を配置し、個別の支援が必要な児童に対して学習上の困難の改善や克服に適切な指導を行った。

(8) スクールソーシャルワーカー活用事業

教育委員会に専門的知識や技能を有するスクールソーシャルワーカー 3 名を配置し、問題を抱えた児童生徒に対し当該児童生徒が置かれた環境への働きかけや、関係機関とのネットワーク活用などの支援活動を行った。

(9) 学校だんだん支援事業(緊急雇用対策)

多様な経験を有する社会人を教育補助者として小学校 20 校、中学校 11 校に配置し、様々な問題を抱える児童生徒に対する指導や支援を行なった。

(10) 総合教育支援センター事業

明道公民館 3 階に通級指導教室とまなびの支援室を設置し、支援の必要な子どもたちのニーズに応じた指導や支援を行なった。

(11) 心の教室相談員設置事業

中学校の生徒が抱えている悩みやストレス等を軽減するために、気軽に話することができる相談員を 9 校に配置した。

(12) 小学校少人数学級の実施

少人数学級（1・2年生は1学級30人、3年生から6年生は1学級35人）の実施に伴い、3年生から6年生について加配教員（10校13人）に要する人件費の一部として26,000万円を鳥取県に寄付した。（1学級当たり200万円）

(13) 中学校少人数学級の実施

少人数学級（1年生は1学級33人、2・3年生は1学級35人）の実施に伴い、2・3年生の加配教員（6校10人）に要する人件費の一部として20,000万円を鳥取県に寄付した。（加配教員1人当たり200万円）

(14) 英語指導助手配置事業(民間委託事業)

6名の英語指導助手が市内小学校・中学校・特別支援学校の巡回英語指導を実施した。

(15) 要保護・準要保護児童生徒扶助費支給状況

準要保護児童生徒の保護者に対し、新入学用品費、学用品費、修学旅行費の一部、医療費及び給食費の一部を支給し、要保護児童生徒の保護者には、修学旅行費及び医療費を支給した。

区分	対象延べ人員		支給金額（単位：円）
	要保護	準要保護	
小学校	86	1,578	88,598,562
中学校	55	864	32,988,421
合計	141	2,442	121,586,983

(16) 児童生徒定期健康診断

ア 結核健康診断

結核健康診断問診票により、要精密検査となった者又は学校医その他の担当の医師において必要と認める者に対して、胸部エックス線直接撮影等の精密検査を実施した。

区 分	精密検査		有所見者	異常なし
	対象者数	受検者数		
小学校	3	3	0	3
中学校	0	0	0	0
特別支援学校	0	0	0	0
合 計	3	3	0	3

イ 心電図検査

小学校第1・4学年および中学校第1学年全員を対象に実施した。

区 分		対象者数	受検者数	要精検者数
小学校	第1学年	1,377	1,375	20
	第4学年	1,401	1,398	17
中学校		1,265	1,262	25
特別支援学校		3	2	0
合 計		4,046	4,037	62

ウ 寄生虫卵検査

小学校第1・2・3学年を対象として、セロテープ法（ぎょう虫）による検査を実施した。

区 分	第1・2・3学年		
	対象者数	受検者数	陽性者数
小学校	4,184	4,174	1
特別支援学校	1	1	0
合 計	4,185	4,175	1

エ 尿検査

全児童、生徒を対象とし、試験紙法によって蛋白・糖・潜血の三法で実施した。

区 分	対象者数	受検者数	陽性者数		
			蛋白	糖	潜血
小学校	8,559	8,547	47	2	81
中学校	3,821	3,761	113	3	105
特別支援学校	20	20	1	0	0
合 計	12,400	12,328	161	5	186

(17) 教職員定期健康診断

ア 結核健康診断

全教職員を対象として胸部エックス線撮影を実施した。（ ）内は、うち人間ドック及び個別受診者数。

区 分	対象者数	受検者数		精検受検者数	
小学校	567	549	(153)	8	(1)
中学校	298	293	(80)	3	(1)
特別支援学校	16	16	(5)	0	(0)
合 計	881	858	(238)	11	(2)

イ 胃の検査

40歳以上の教職員を対象に胃部エックス線100ミリ間接撮影（7枚撮り）を実施した。（ ）内は、うち人間ドック及び個別受診者数。

区 分	対象者数	受検者数		有所見者数	
小学校	391	369	(143)	32	(25)
中学校	177	164	(70)	16	(14)
特別支援学校	8	8	(4)	1	(1)
合 計	576	541	(217)	49	(40)

ウ 総合検診

全教職員を対象として実施した。（ ）内は、うち人間ドック及び個別受診者数。

区 分	対象者数	受検者数	
小学校	567	556	(154)
中学校	298	295	(80)

区 分	対象者数	受検者数
特別支援学校	16	16 (5)
合 計	881	867 (239)

(18) 学校災害共済加入状況

ア 日本スポーツ振興センター災害共済

区 分	対象者数	加入者数	発生件数	受給件数
小学校	8,558	8,553	614	865
中学校	3,825	3,824	537	855
特別支援学校	20	20	1	1
合 計	12,403	12,397	1,152	1,721

(19) 通学費助成及びスクールバス運行事業

(※ 小学校統合時（S46）に、遠隔地となる児童生徒の通学の負担を軽減する目的で通学費の補助又はスクールバスを運行し、保護者の負担を軽減する事業。合併協定により実施している。)

ア 通学費助成事業

淀江小学校に通う佐陀地区在住の小学生（1年～3年生）及び淀江中学校に通う本宮地区在住の中学生の保護者に対して通学用バス定期代の一部を補助し、経済的負担の軽減を図った。

区 分	対象児童（生徒）数	支給金額（単位：円）
小学校	93	1,188,670
中学校	5	131,100
合 計	98	1,319,770

イ スクールバス運行事業

淀江小学校に通う本宮地区在住の小学生（1年～6年生）・宝ヶ瀬地区在住の小学生（1年～3年生）を対象にスクールバスを運行し、保護者の負担軽減を図った。